

四方山話 ⑰

**Pay it forward.** 「恩」を忘れてはいけません。

「恩」という文字は、「心の原因」と書きます。心の元、つまり、自分というものは、どこからやってきて、どんなふうになってきたのかを知ることではないでしょうか。

私たちは、生まれてからこれまで、多大な恩恵を受けてきたはずです。自然の恩、父母や家族の恩、社会や学校の恩……。これからは、受けてきた恩恵を自分から周りに発信することも考えましょう。

「恩返し」という言葉がありますが、受けた恩をその人に直接返すというのはなかなかできることではありません。しかし、受けた恩を別の人に送り伝えてゆくことはできます。これが「恩送り」です。『情けは人の為ならず』という言葉がこれに該当するでしょう。

近年、英語圏でも「恩送り」に相当する概念が、“Pay it forward”の表現で認識されるようになってきています。